

[仕事の便利術] 上手な問題・課題の探し方

●受講期間 2ヵ月

●受講料 12,100円

マルチデバイス対応

■テキスト1冊 (Webテキストも閲覧可) ■添削レポート2回 (Web提出可)

※ テキストはインターネットで閲覧できます。Web提出には「Microsoft Word」が必要です。

問題解決から問題発見へ — これまでの延長線では見えてこない問題を
「見える化」し、本当に達成すべき課題を絞り込むことができる
既存の問題の深掘り(深化)と新たな課題の発掘(探索)に現場レベルで
どう取り組むか、未達・逸脱の問題だけでなく、
気になる兆候や向上したい課題を具体化
一人ひとりの価値観、人生観、哲学が未来を構想し、
問題を見出すことにつながることの意義を認識でき、
問題解決の本質に迫ることができる



●第1単元

何が問題なのかわからない時代の問題発見

- ・いよいよ問題が見つかりにくい時代に
- ・経験や前提に縛られず、ゼロベースで思考する
- ・フレームはツールとして使いこなす
- ・図示化と数値化の思考法
- ・予見・仮説を立ててから取りかかる
- ・ヒトは限定合理性の中で生きている
- ・意味を創造する、センスメイキング理論
- ・哲学と美学を取り入れる
- ・シナリオ・プランニングでリスクに備える
- ・情報化社会の向こう側—AIとの共存

●第2単元

「答えは現場にあり」 ——行動することの重要性

- ・現場でPDCAサイクルを回しながら、問題・課題を探る
- ・現場発のイノベーションを促す
- ・対立や矛盾は、むしろ歓迎すべきこと
- ・CSV＝価値共創の時代へ
- ・次世代に社会を引き継ぐために、向き合うべき課題
- ・情報過多の中、捨てるものを決める
- ・人間中心主義によるソリューション
- ・職場のムダをあぶり出して改善・改革をすすめよう
- ・生産性だけでなく顧客体験を変えるDXのすすめ方
- ・アイデアが出やすい雰囲気づくり